

## ＜内容別箴言＞

## A. 知恵

## 1. 「知恵」

3:7 自分自身を知恵ある者と見るな。主を畏れ、悪を避けよ。  
 3:14 知恵によって得るものは／銀によって得るものにまさり／彼女によって収穫するものは金にまさる。  
 6:6 怠け者よ、蟻のところに行き見よ。その道を見て、知恵を得よ。  
 8:11 知恵は真珠にまさり／どのような財宝も比べることはできない。

## 2. 「懲らしめ」

3:11 わが子よ、主の諭しを拒むな。主の懲らしめを避けるな。  
 3:12 かわいい息子を懲らしめる父のように／主は愛する者を懲らしめられる。  
 6:23 戒めは灯、教えは光。懲らしめや諭しは命の道。  
 12:1 諭しを愛する人は知識を愛する。懲らしめを憎む者は愚かだ。

## 3. 「諭し」

22:15 若者の心には無知がつきもの。これを遠ざけるのは諭しの鞭。  
 23:12 あなたの心を諭しの言葉に／耳を知識の言葉に傾けよ。  
 23:23 真理を得よ、知恵も諭しも分別も手放すな。

## 4. 「英知」

「洞察する」「識別する」の意＞見分ける力  
 2:11 慎重さがあなたを保ち、英知が守ってくれるので  
 11:12 心ない者は友人を侮る。英知ある人は沈黙を守る。  
 14:29 忍耐によって英知は加わる。短気な者はますます無知になる。  
 17:27 口数を制する人は知識をわきまえた人。冷静な人には英知がある。

## 5. 「分別」

4:7 知恵の初めとして／知恵を獲得せよ。これまでに得たものすべてに代えても／分別を獲得せよ。  
 7:4 知恵に「あなたはわたしの姉妹」と言い／分別に「わたしの友」と呼びかけよ。  
 17:24 分別のある人は顔を知恵に向け／愚か者は目を地の果てに向ける。  
 26:18 分別を失った者が、火矢を、死の矢を射る。  
 28:11 金持ちは自分を賢いと思ひ込む。弱くても分別ある人は彼を見抜く。

## 6. 「思慮深い」「熟慮」

12:23 思慮深い人は知識を隠す。愚かな心はその無知を言いふらす。  
 14:15 未熟な者は何事も信じこむ。熟慮ある人は行く道を見分けようとする。

## 7. 「知識」

17:27 口数を制する人は知識をわきまえた人。冷静な人には英知がある。  
 20:15 金もあり、珠玉も多い。しかし、貴いものは知識ある唇。

## B. 愚かさ

## 1. 「愚か(者)」

1:32 浅はかな者は座して死に至り／愚か者は無為の内に滅びる。  
 10:18 うそを言う唇は憎しみを隠している。愚か者は悪口を言う。  
 14:16 知恵ある人は畏れによって悪を避け／愚か者は高慢で自信をもつ。  
 17:10 理解力ある人を一度叱責する方が／愚か者を百度打つよりも効き目がある。  
 17:12 子を奪われた熊に遭う方が／愚か者の無知に会うよりましだ。  
 18:6 愚か者の唇は争いをもたらし、口は殴打を招く。

## 2. 「無知(な者)」

10:21 神に従う人の唇は多くの人を養う。無知な者は意志が弱くて死ぬ。  
 12:15 無知な者は自分の道を正しいと見なす。知恵ある人は勧めに聞き従う。  
 12:16 無知な者は怒ってたちまち知れ渡る。思慮深い人は、軽蔑されても隠している。  
 14:1 知恵ある女は家庭を築く。無知な女は自分の手でそれをこわす。  
 14:3 無知な者の口には傲慢の杖。知恵ある人の唇は自分を守る。  
 17:28 無知な者も黙っていれば知恵があると思われ／唇を閉じれば聡明だと思われる。

## 3. 「怠け(者)」

6:9 怠け者よ、いつまで横になっているのか。いつ、眠りから起き上がるのか。  
 20:4 怠け者は冬になっても耕さず／刈り入れ時に求めるが何もない。  
 26:14 扉はちょうつがいに乗って回転する。怠け者は寝床の上で寝返りを打つ。

## C. 主

## 1. 主を畏れる

1:7 主を畏れることは知恵の初め。無知な者は知恵をも諭しをも侮る。  
 9:10, 15:33  
 8:13 主を畏れることは、悪を憎むこと。傲慢、驕り、悪の道／暴言をはく口を、わたしは憎む。  
 14:2 主を畏れる人はまっすぐ歩む。主を侮る者は道を曲げる。  
 14:27 主を畏れることは命の源／死の罠を避けさせる。  
 15:16 財宝を多く持って恐怖のうちにあるよりは／乏しくても主を畏れる方がよい。  
 23:17 罪人らのことに心を燃やすことはない／日ごと、主を畏れることに心を燃やすがよい。  
 31:30 あでやかさは欺き、美しさは空しい。主を畏れる女こそ、たたえられる。

## 2. 守り・祝福

2:7 主は正しい人のために力を／完全な道を歩く人のために盾を備えて裁きの道を守り／主の慈しみに生きる人の道を見守ってくださる。  
 2:8 裁きの道を守り／主の慈しみに生きる人の道を見守ってくださる。  
 3:26 主があなたの傍らにいまし／足が罠にかからないように守ってくださる。  
 3:33 主に逆らう者の家には主の呪いが／主に従う人の住みかには祝福がある。  
 10:22 人間を豊かにするのは主の祝福である。人間が苦勞しても何も加えることはできない。  
 16:7 主に喜ばれる道を歩む人を／主は敵と和解させてくださる。  
 19:17 弱者を憐れむ人は主に貸す人。その行いは必ず報いられる。

## 3. 信頼すべき

3:5-6 心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば／主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。  
 15:29 主に逆らう者に遠くいますが／従う者の祈りを聞いてくださる。  
 21:31 戦いの日のために馬が備えられるが／救いは主による。

## 4. 教育

3:12 かわいい息子を懲らしめる父のように／主は愛する者を懲らしめられる。  
 17:3 銀にはるつば、金には炉、心を試すのは主。

## 5. 人間の道と神の御旨

5:21 人の歩む道は主の御目の前にある。その道を主はすべて計っておられる。  
 16:2 人間の道は自分の目に清く見えるが／主はその精神を調べられる。  
 16:3 あなたの業を主にゆだねれば／計らうことは固く立つ。  
 16:9 人間の心は自分の道を計画する。主が一步一步を備えてくださる。  
 19:21 人の心には多くの計らいがある。主の御旨のみが実現する。  
 21:2 人間の道は自分の目に正しく見える。主は心の中を測られる。

## 6. 創造

8:22 主は、その道の初めにわたしを造られた。いにしへの御業になお、先立って。  
 20:12 聞く耳、見る目、主がこの両方を造られた。  
 22:2 金持ちと貧乏な人が出会う。主はそのどちらも造られた。  
 15:3 どこにも主の目は注がれ／善人をも悪人をも見ておられる。

## 7. 主の喜び

11:1 偽りの天秤を主はいとい／十全なおもり石を喜ばれる。  
 11:20 心の曲がった者を主はいとい／完全な道を歩む人を喜ばれる。  
 12:2 善人は主に喜び迎えられる。悪くみをする者は罪ありとされる。

## D. 人

## 1. 友

3:29 友に対して悪意を耕すな／彼は安心してあなたのもとに住んでいるのだ。  
 14:20 貧乏な者は友にさえ嫌われるが／金持ちを愛する者は多い。  
 17:17 どのようなときにも、友を愛すれば／苦難のときの兄弟が生まれる。  
 18:24 友の振りをする友もあり／兄弟よりも愛し、親密になる人もある。  
 19:6 高貴な人の好意を求める者は多い。贈り物をする人にはだれでも友になる。  
 27:17 鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。

## 2. 妻

12:4 有能な妻は夫の冠。恥をもたらす妻は夫の骨の腐れ。  
 19:14 家と財産は先祖からの嗣業。賢い妻は主からいただくもの。  
 21:9 いさかい好きな妻と一緒に家にいるよりは／屋根の片隅に座っている方がよい。19:13, 25:24  
 21:19 いさかい好きで怒りっぽい妻といるよりは／荒れ野に座っている方がよい。

## 3. 夫

31:11 夫は心から彼女を信頼している。儲けに不足することはない。

## 4. 子

4:1 子らよ、父の諭しを聞け／分別をわきまえるために、耳を傾けよ。

13:24 鞭を控えるものは自分の子を憎む者。子を愛する人は熱心に諭しを与える。

19:26 父に暴力を振るい、母を追い出す者は／辱めと嘲りをもたらす子。

## 5. 愛

10:12 憎しみはいさかいを引き起こす。愛はすべての罪を覆う。

15:17 肥えた牛を食べて憎み合うよりは／青菜の食事で愛し合う方がよい。

17:9 愛を求める人は罪を覆う。前言を翻す者は友情を裂く。

17:17 どのようなときにも、友を愛すれば／苦難のときの兄弟が生まれる。

27:5 あらわな戒めは、隠された愛にまさる。

## 6. いさかい

16:28 暴言をはく者はいさかいを起こさせる。陰口は友情を裂く。

17:14 いさかいの始めは水の漏り始め。裁判沙汰にならぬうちにやめておくがよい。

18:17 訴えごとを最初に出す人は正しく見えるが／相手方が登場すれば問いただされるであろう。

18:18 くじはいさかいを鎮め／手ごわい者どうしも引き分ける。

18:19 一度背かれれば、兄弟は砦のように／いさかいをすれば、城のかんぬきのようになる。

26:20 木がなければ火は消える。陰口を言う者が消えればいさかいは鎮まる。

29:22 怒りやすい人はいさかいを引き起こし／激しやすい人は多く罪を犯す。

## E. 生と死

## 1. 「命」

4:10 わが子よ、聞け、わたしの言うことを受け入れよ。そうすれば、命の年月は増す。

4:23 何を守るよりも、自分の心を守れ。そこに命の源がある。

6:23 戒めは灯、教えは光。懲らしめや諭しは命の道。

12:28 命は慈善の道にある。この道を踏む人に死はない。

13:12 待ち続けるだけでは心が病む。かなえられた望みは命の木。

21:21 恵みと慈しみを追い求める人は／命と恵みと名誉を得る。

22:4 主を畏れて身を低くすれば／富も名誉も命も従って来る。

## 2. 「死」

11:4 怒りの日には、富は頼りにならない。慈善は死から救う。

13:14 賢人の教えは命の源。死の罫を避けさせる。

14:12 人間の前途がまっすぐなようでも／果ては死への道となることがある。

26:18 分別を失った者が、火矢を、死の矢を射る。

## F. その他

## 1. ことば (舌・口)

10:20 神に従う人の舌は精選された銀。神に逆らう者の心は無に等しい。

10:31 神に従う人の口は知恵を生み／暴言をはく舌は断たれる。

12:18 軽率なひと言が剣のように刺すこともある。知恵ある人の舌は癒す。

12:19 真実を語る唇はいつまでも確かなもの。うそをつく舌は一瞬。

12:25 心配は人をうなだれさせる。親切な言葉は人を喜ばせる。

15:4 癒しをもたらす舌は命の木。よこしまな舌は気力を砕く。

18:21 死も生も舌の力に支配される。舌を愛する者はその実りを食らう。

21:23 自分の口と舌を守る人は／苦難から自分の魂を守る。

25:15 忍耐強く対すれば隊長も誘いに応じる。穏やかに語る舌は骨をも砕く。

25:23 北風は雨をもたらす／陰口をたたく舌は憤りの表情をもたらす。

## 2. 心

4:23 何を守るよりも、自分の心を守れ。そこに命の源がある。

12:8 人は見識のゆえに賞賛される。心がいじけている者は侮られる。

13:12 待ち続けるだけでは心が病む。かなえられた望みは命の木。

14:10 魂の苦しみを知るのは自分の心。その喜びにも他人はずからない。

14:13 笑っていても心の痛むことがあり／喜びが悲しみに終ることもある。

14:30 穏やかな心は肉体を生かし／激情は骨を腐らせる。

15:13 心に喜びを抱けば顔は明るくなり／心に痛みがあれば霊は沈みこむ。

15:15 貧しい人の一生は災いが多いが／心が朗らかなら、常に宴会にひとしい。

17:22 喜びを抱く心はからだを養うが／霊が沈みこんでいると骨まで枯れる。

25:20 寒い日に衣を脱がせる者／ソーダの上に酢を注ぐ者／苦しむ心に向かつて歌をうたう者。

26:25 上品な声を出すからといって信用するな／心には七つの忌むべきことを持っている。

27:19 水が顔を映すように、心は人を映す。

## 3. 富

10:2 不正による富は頼りにならない。慈善は死から救う。

10:4 手のひらに欺きがあれば貧乏になる。勤勉な人の手は富をもたらす。

11:4 怒りの日には、富は頼りにならない。慈善は死から救う。

11:28 富に依存する者は倒れる。神に従う人は木の葉のように茂る。

13:7 富んでいると見せて、無一物の者がいる。貧乏と見せて、大きな財産を持つ者がある。

15:17 肥えた牛を食べて憎み合うよりは／青菜の食事で愛し合う方がよい。

21:17 快楽を愛する者は欠乏に陥り／酒と香油を愛する者は富むことがない。

23:4 富を得ようとして労するな／分別をもって、やめておくがよい。